

## 東京2020大会 ボランティア活動時によく使う手話を動画で学ぶ第3弾！ 「ボランティアガイド お笑い手話劇場 夫婦漫才編」 特設ページとYouTubeで公開開始！

日本財団ボランティアサポートセンター（以下ボラサポ）では、ボランティア活動時によく使うあいさつなどの手話を夫婦漫才で紹介する特設ページ「ボランティアガイド お笑い手話劇場 夫婦漫才編」を11/16(月)より公開開始しましたので、お知らせいたします。

7月に公開した「お笑い手話劇場 男組編」に続く第3弾であり、多くの方に動画で楽しく手話に親んでもらえるページとなっております。本件の幅広い周知についてご検討の程、何卒宜しく願いいたします。本件に関するお問い合わせは、広報担当倉田(070-7514-4529)、小久保(070-2264-4371)までお願いいたします。

■「お笑い手話劇場 夫婦漫才編」ページ URL [https://www.volvasapo.tokyo/guide/sign\\_language/meotomanzai/](https://www.volvasapo.tokyo/guide/sign_language/meotomanzai/)

### ■「お笑い手話劇場」ページコンセプト

ボラサポでは、東京2020大会に関する情報をまとめたページを「ボランティアガイド」と名付け、これまでに各地方自治体などが募集する独自ボランティア情報の紹介ページや、ボランティア現場で役立つ英語表現をまとめたページなどを開設しています。

「お笑い手話劇場」では、①東京2020関連用語②地名・観光地・グルメ③東京2020大会で行われる競技④ボランティア活動時によく使う手話の4つのパートで紹介していきます。これまでに落語編、男組編の2種を開設しており、今回の夫婦漫才編は第3弾となります。

東京2020大会においては、来場客はもちろんのこと、ボランティア参加者の中にも聴覚障害者の方が多くおられることが想定されます。その際のコミュニケーションに役立つ言葉を、楽しく紹介するページとなっています。

また、本ページに掲載している動画は動画投稿サイト「YouTube」のボラサポ公式チャンネルでも公開しています。

### ■「お笑い手話劇場 夫婦漫才編」ページ概要

今回は落語編、男組編に続く第3弾として、④ボランティア活動時によく使う手話について本の動画を公開しました。動画(各約1~6分)では、「モンキー高野&菊川れん」のろう者2人が夫婦漫才で、ボランティア活動時によく使うあいさつなどの手話を紹介します。またwithコロナ時代の今だからこそ聴覚障害者の視点で伝えたいこととして、マスク着用時に口形が見えないなどの困り事や、その対応方法のアドバイスなども紹介しています。



### ■出演者「モンキー高野&菊川れん」プロフィール

トランスジェンダー同士の親友。同じ悩みを持つ2人がろう者を笑いで元気にしたい！と2001年から活動をスタート。怖い奥さんと気弱な旦那が夫婦喧嘩をしながら「ろう者あるある」を全国の手話団体やTVなどで熱演。

### ■ボラサポによる障害者ボランティア参加促進の取り組み

東京2020大会のコンセプトの一つに「多様性と調和」が挙げられている中、ボラサポでは障害者によるボランティア参加を促進する取り組みを進めています。中でも、情報保証の面で困難を抱えがちな視覚障害者、聴覚障害者の方々に対し、希望する方がスムーズにボランティア参加できるための取り組みを進めており、こうした方々の中には東京2020大会の本番でもボランティアに参加予定の方もいます。

- 【これまでの主な取り組み】
- ・視覚障害者、聴覚障害者向けの東京2020大会ボランティア応募説明会を実施
  - ・聴覚障害者向けに、手話による東京2020大会ボランティア応募促進動画を制作
  - ・視覚障害者、聴覚障害者によるボランティア参加機会の提供

### 一般財団法人 日本財団ボランティアサポートセンター 概要

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と日本財団が2017年6月に締結したボランティアの連携・協力に関する協定に基づき、当該協力に係る事業を実施する団体として設立されました。当法人は、ボランティア育成を通じた2020東京大会の成功と、大会後に繋がるボランティア文化の醸成を目指しています。

所在地: 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 3階 代表者: 渡邊 一利(笹川スポーツ財団 理事長) 設立: 2017年9月

■ ページイメージ



